



## I コマンド

---

この章では、I で始まる、Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) のコマンドについて説明します。

# in-order-guarantee

順次配信をイネーブルにするには、**in-order-guarantee** コマンドを使用します。順序どおりの配信をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**in-order-guarantee** [*vsan vsan-id*]

**no in-order-guarantee** [*vsan vsan-id*] [,] [-]

## 構文の説明

<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
[,] [-]	(任意) カンマで区切って複数の VSAN を入力することも、またダッシュを使用して VSAN の範囲を入力することも可能です。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

データ フレームの順次配信は、送信元の送信順と同一の順番で宛先にフレーム配信することを保証します。

## 例

次に、順序どおりの配信をスイッチ全体でイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# in-order-guarantee
```

次に、順序どおりの配信をスイッチ全体でディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no in-order-guarantee
```

次に、順序どおりの配信を特定 VSAN でイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# in-order-guarantee vsan 3452
```

次に、順序どおりの配信を特定 VSAN でディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no in-order-guarantee vsan 101
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show</b>	in-order-guarantee ステータスを表示します。
<b>in-order-guarantee</b>	

# install feature-set virtualization

スイッチ上でシスコ仮想マシンのフィーチャ セットをインストールするには、**install feature-set virtualization** コマンドを使用します。シスコ仮想マシンのフィーチャ セットを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**install feature-set virtualization**

**no install feature-set virtualization**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン



(注)

シスコ仮想マシン機能は、Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでだけサポートされます。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

## 例

次に、スイッチ上でシスコ仮想マシンのフィーチャ セットをインストールする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# install feature-set virtualization
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature-set virtualization</b>	スイッチで Cisco 仮想マシン フィーチャ セットをイネーブルにします。
<b>show feature-set</b>	仮想化フィーチャセットのステータスを表示します。
<b>show running-config</b>	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。

# interface fc

Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチのファイバ チャネル インターフェイスを設定するには、**interface fc** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface fc slot/port
  channel-group {group-id [force] | auto}
  fcdomain rcf-reject vsan vsan-id
  fcsp {auto-active | auto-passive | on | off} [timeout-period]
  fspf {cost link-cost vsan vsan-id | dead-interval seconds vsan vsan-id | hello-interval seconds
  vsan vsan-id | passive vsan vsan-id | retransmit-interval seconds vsan vsan-id}
  switchport

no interface fc slot/port
  no channel-group {group-id [force] | auto}
  no fcdomain rcf-reject vsan vsan-id
  no fcsp {auto-active | auto-passive | on | off}
  no fspf {cost link-cost vsan vsan-id | dead-interval seconds vsan vsan-id | hello-interval
  seconds vsan vsan-id | passive vsan vsan-id | retransmit-interval seconds vsan vsan-id}
  switchport
```

## 構文の説明

<i>slot/port</i>	インターフェイスのスロット番号およびポート番号を指定します。
<b>channel-group</b>	ポート チャネルに追加するか、ポート チャネルから削除します。
<i>group-id</i>	ポート チャネル グループ番号を 1 ～ 128 の間で指定します。
<b>force</b>	(任意) ポートを強制的に追加します。
<b>auto</b>	ポート チャネルの自動作成をイネーブルにします。
<b>fcdomain</b>	インターフェイス モードを開始します。
<b>rcf-reject</b>	Reconfigure Fabric (RCF) 拒否フラグを設定します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ～ 4093 です。
<b>fcsp</b>	特定インターフェイスの Fibre Channel Security Protocol (FC-SP) パラメータを設定します。
<b>auto-active</b>	指定のインターフェイスを認証するため、auto-active モードを設定します。
<b>auto-passive</b>	指定のインターフェイスを認証するため、auto-passive モードを設定します。
<b>on</b>	指定のインターフェイスを認証するため、on モードを設定します。
<b>off</b>	指定のインターフェイスを認証するため、off モードを設定します。
<i>timeout-period</i>	(任意) インターフェイスを再認証するためのタイムアウト期間を指定します。指定できる範囲は 0 ～ 100000 分です (0 がデフォルトで、認証は実行されません)。
<b>fspf</b>	FSPF パラメータを設定します。
<b>cost link-cost</b>	FSPF リンク コストを設定します。指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。
<b>dead-interval seconds</b>	FSPF のデッド インターバルを秒単位で設定します。有効な範囲は 2 ～ 65535 です。
<b>hello-interval seconds</b>	FSPF の hello インターバルを設定します。指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。
<b>passive</b>	インターフェイスの FSPF をディセーブル、またはイネーブルにします。

<b>retransmit-interval</b> <i>seconds</i>	FSPF の再送信インターフェイスを秒単位で設定します。指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。
<b>switchport</b>	スイッチポート パラメータを設定します。

**コマンド デフォルト**      ディセーブル

**コマンド モード**      グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**      次の形式でコマンドを入力して、インターフェイスの範囲を指定できます。

```
interface fc 1/1 - 5 , fc 2/5 - 7
```

インターフェイスをイネーブルにするには、**no shutdown** コマンドを使用します。

**interface fc** コマンドを使用すると、インターフェイス コンフィギュレーション モードになります。このモードでは 5 つのコマンドを使用できます (それぞれに **no** 形式があります)。これらの 5 つのコマンドは、インターフェイス コンフィギュレーション モードだけで使用できます。

**channel-group auto** コマンドでは、ポート チャネルの自動作成がイネーブルになります。ポート チャネルの自動作成がインターフェイスに対してイネーブルになっている場合、古いソフトウェアバージョンにダウングレードする前、または手動で設定されたチャンネル グループのインターフェイスを設定する前に、まずこのコンフィギュレーションをディセーブルにする必要があります。

**例**      次に、ファイバチャネル インターフェイス 3 のポート 1 ～ 4 を設定する例を示します。

```
switch(config)# interface fc 3/1 - 4
```

次に、スロット 3 のポート 1 のファイバチャネル インターフェイスをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# interface fc 3/1
switch(config-if)# no shutdown
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show interface</b>	指定のインターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
	<b>shutdown</b>	インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。

# interface san-port-channel

Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチの SAN ポート チャネル インターフェイスを設定するには、**interface san-port-channel** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface san-port-channel port
```

```
no interface san-port-channel port
```

## 構文の説明

<i>port</i>	SAN ポート チャネル インターフェイス ID。有効な範囲は 1 ~ 256 です。
-------------	---

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。
5.1(3)N1(1)	<b>description</b> 、 <b>shutdown</b> 、および <b>switchport</b> キーワードは、 <b>interface san-port-channel</b> コマンドから分けられました。これらは個別のコマンドとして説明します。

## 使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

## 例

この例では、SAN ポート チャネル インターフェイス 3 で SAN を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface san-port-channel 3
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>channel mode active</b> (SAN ポート チャネル)	アクティブ ポート チャネル ポートとして SAN ポート チャネル インターフェイスを設定します。
<b>show interface</b>	指定のインターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
<b>shutdown</b>	インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。
<b>switchport</b> (SAN ポート チャネル)	SAN ポート チャネル インターフェイスのスイッチ ポート パラメータを設定します。

# interface vethernet

仮想イーサネット (vEth) インターフェイスのインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始するには、**interface vethernet** コマンドを使用します。仮想イーサネット インターフェイスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface vethernet veth-id[, vethernet veth-id, ...]
```

```
no interface vethernet veth-id[, vethernet veth-id, ...]
```

## 構文の説明

<i>veth-id</i>	仮想イーサネット インターフェイス番号。有効な範囲は 1 ~ 1,048,575 です。 複数の仮想イーサネット インターフェイスを指定できます。必ずカンマ (,) 区切り文字を使用します。
----------------	--

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

仮想イーサネット インターフェイスを使用する前に、**feature-set virtualization** コマンドを使用してスイッチの Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにする必要があります。

Cisco Nexus 5548 スイッチでは、最大で 1000 個の仮想イーサネット インターフェイスを作成できます。スイッチで Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) をディセーブルにする前に、必ずこれらのインターフェイスを削除してください。仮想イーサネット インターフェイスを削除した後、スイッチの実行コンフィギュレーションを必ずスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。

## 例

次に、仮想イーサネット インターフェイス 10 のコンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vethernet 10
switch(config-if)#
```

次に、仮想イーサネット インターフェイスを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no interface vethernet 2
switch(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>bind</b>	仮想イーサネット インターフェイスにインターフェイスをバインドします。
<b>feature-set virtualization</b>	スイッチで Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにします。
<b>show interface vethernet</b>	仮想イーサネット インターフェイスの各種パラメータを表示します。
<b>show running-config interface</b>	インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。



# interface vfc

Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチの仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定するには、**interface vfc** コマンドを使用します。仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
interface vfc vfc-id
no interface vfc vfc-id
```

## 構文の説明

*vfc-id* 仮想インターフェイス ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 8192 です。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。
5.0(2)N1(1)	<b>bind</b> 、 <b>description</b> 、および <b>shutdown</b> コマンドは <b>interface vfc</b> コマンドから分離されました。
5.0(2)N2(1)	仮想 E (VE) ポートのサポートが追加されました。

## 使用上のガイドライン

次の形式でコマンドを入力して、インターフェイスの範囲を指定できます。

```
interface vfc 1 - 3, vfc 5 - 7
```

## 例

次に、仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 のインターフェイス コンフィギュレーション モードを入力する例を示します。

```
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>bind</b>	インターフェイスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイスをバインドします。
<b>description</b>	仮想ファイバ チャンネル インターフェイスの目的のサマリーを入力します。
<b>show interface vfc</b>	指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。
<b>shutdown</b>	インターフェイスをディセーブルおよびイネーブルにします。
<b>switchport</b> (仮想ファイバ チャンネル インターフェイス)	仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを仮想 E (VE) ポートとして設定します。
<b>switchport mode trunk</b>	イーサネット インターフェイスをトランク ポートとして設定します。

■ interface vfc